**【　勘定科目データのData Loaderによるインポート手順　】**

1. Data Loaderインポート用のCSVファイルを作成する。

1-1. インポート用テンプレートファイル（GL\_Account\_Insert\_Template.csv）を別名コピーする。

1-2. 別名コピーしたインポート用ファイルの 「RSTKF\_\_GLACCT\_CMPNO\_\_C」 に、会計会社の内部コードを設定する。

1-2-1. 会社マスタを一覧表示する。

1-2-2. 「会計会社リファレンス」 項目を表示する。

「会計会社リファレンス」 が会計会社の内部コードである。

（例）TR010の場合：内部コードは、”aBK6g000000PQodGAG”

1-2-3. インポート用ファイルの 「RSTKF\_\_GLACCT\_CMPNO\_\_C」 の値として、上記で確認した「会計会社リファレンス」 の値をセットして保存する。

1. Data Loaderを起動し、作成したインポートファイルをInsertする。

2-1. Data Loaderを起動し、下記のStepに従って操作を行なう。

Step 1: Log In

1. 環境は、”Sandbox” または”Production”を選択して [Log in] ボタンを押す。
2. ユーザ名とパスワードを入力する。
3. ”Allow Access？” が表示された場合は、 [Allow] ボタンを押す。
4. ログインに成功したら、　[Next] ボタンを押す。

Step 2: Select data objects

1. Salesforce Objectは、”GL Account(rstkf\_glacct\_c)” を選択する。
2. InsertするCSVファイルを [Browse…] ボタンを押し指定して [Next] ボタンを押す。
3. ポップアップ画面にInsert対象レコード件数が表示される。確認し [OK] ボタンを押す。

Step 3: Mapping

1. [Create or Edit a Map] ボタンを押す。
2. [Auto-Match Fields to Columns] ボタンを押し、項目マッピングを自動で行なう。
3. 項目マッピングが行われ、画面の下段にマッピング結果が表示される。
4. [Save Mapping] ボタンを押し、マッピング定義データを保存しておく。
5. [OK] ボタンを押す。
6. [Next] ボタンを押す。

※ 既にマッピング定義ファイル（拡張子はsdl）がある場合は、以下の手順でマッピングを行なう。

1. [Choose an Existing Map] ボタンを押す。
2. 保存してあるマッピング定義ファイルを指定する。
3. 項目マッピングが行われ、画面の下段にマッピング結果が表示される。

Step 4: Finish

1. 実行ログなどの出力先の指定画面が表示される。出力場所を変えたい場合は変更する。
2. [Finish] ボタンを押す。
3. 処理の実行確認のポップアップ画面が表示されるので、 [Yes] ボタンを押す。
4. 処理件数と処理時間、成功件数とエラー件数のポップアップ画面が表示される。
5. 成功結果とエラー結果を画面で確認できる。
6. エラー結果を表示して、エラー内容を確認する。

**【 Data Loaderのインストール方法 】　　※ ブラウザーはGoogleかIE**

<https://help.salesforce.com/articleView?id=000317204&type=1&mode=1>